

## 第 37 回日本原子力学会バックエンド部会全体会議議事録

日時：2012 年 9 月 20 日（木）12：00～13：00

場所：広島大学 東広島キャンパス 総合科学部東講義棟 B 会場

### 議事内容

#### 1. 山本部会長挨拶

#### 2. 平成 23 年度活動中間報告

##### 2.1 企画報告（H24 夏期セミナー，企画セッション）

###### ①国際会議関係、その他

- ・2012 年秋バックエンド部会企画セッション「地層処分事業の着実な実施に向けて」  
本総会終了後に開催
- ・2012 春バックエンド部会企画セッションについて  
開催したい企画、開催を望む企画対象あれば、運営小委員までにご一報願いたい。
- ・2012 年秋 プログラム編成委員について  
放射性廃棄物処理（409）、放射性廃棄物処分と環境（410）、原子力施設の廃止措置技術（411）の分野について、バックエンド部会員の方々にプログラム編成にご尽力
- ・EAFORM（East Asia Forum on Rad-Waste Management）
  - ・東アジア諸国の放射性廃棄物管理の関連組織レベルでの協力促進のための国際会議。
  - ・2 年毎に各国の持ち回りで開催（2010 年は韓国）。
  - ・バックエンド部会の下に EAFORM 小委員会を設置し対応。
  - ・次回：2012 年秋頃，中国で開催予定 ⇒ 中国主催者側の事情によりペンディング
- ・原子力学会英文論文誌創刊 50 周年記念 Review 論文執筆者の推薦  
編集委員会より、各部会に、創刊 50 周年を記念した Review 論文執筆の推薦依頼有り。  
数名の執筆候補者を編集委員会へ推薦。
- ・年会・大会実施方法の改善について（部会等運営委員会報告）  
年会・大会の開催は、現在 8 支部が一律に 4 年に 1 回のペースで実施。規模の小さい支部の負担大きいため、開催循環の見直し検討中（2014 年から導入予定）

###### ②バックエンド夏期セミナー

- ・平成 24 年度の夏期セミナー開催実績を報告した。

日時：平成 24 年 8 月 22 日（水）～8 月 23 日（木）

場所：コラッセ福島（福島県 福島市）

参加者：100 名

プログラム内容：環境修復に対するバックエンド部会の役割

###### ○1 日目

- ・事故に伴う環境汚染への対処について
- ・事故に伴う汚染廃棄物等の管理と課題について

###### ○2 日目

- ・環境修復に関する活動について
- ・ポスターセッション

・パネルディスカッション（環境修復に対するバックエンド部会の役割）  
資料はHP 公開済みであり、さらにセミナー参加記を部会誌次号に記載予定。

### ③「学会事故調」対応

- ・バックエンド部会から委員2名を推薦。
- ・「学会事故調」対応の小委員会を設けて対応を予定。
- ・「学会事故調」は来年度末に報告書、今年度末にドラフトを提出予定
- ・「中長期的な課題」と「短期的な課題」に分けて検討を進める予定。

中長期的な課題：サイト内の瓦礫と事故炉の放射性廃棄物の処理・処分破損燃料の  
処理・処分、事故炉の廃止措置(解体撤去)

短期的な課題：環境省が主体となって実施している除染作業や中間貯蔵施設

## 2.2 広報報告（週末基礎講座案内等）

### ①H24年度 部会HP 小委員会活動

#### 1. 部会ホームページの管理・運用

- ・お知らせ・会議案内 による情報発信
- ・部会誌「原子力バックエンド研究」 記事・論文等の先行公開，バックナンバーの公開
- ・週末基礎講座・夏期セミナーのプレゼンテーション資料の掲載
- ・部会表彰：過去の受賞者リストの整備、公開 等

#### 2. バックエンド部会情報メールサービス（メーリングリストによる情報連絡）

配信実績：H24年度 15件（4/1～9/12）， 配信先：551名（9/13現在）

メール配信ご希望の方，アドレスの変更があった方は広報担当までお知らせ願いたい。

#### 3. ホームページ小委員会メンバーの紹介

### ②説明員登録制度ワーキンググループ

#### 目的

- ・部会としての情報発信の方法やコミュニケーションのあり方等について，運営小員会に提言する。
- ・「説明員登録制度（仮称）」の実施にむけた課題の検討と制度の再構築に取り組む

### ③バックエンド H24年度週末基礎講座 予告

日時： H24. 11. 17（土）、18（日）

場所：東海村駅前 テクノ交流館リコッティ

近日中に部会HP，部会情報メールにてお知らせ予定。

## 2.3 出版報告

### ①部会誌「原子力バックエンド研究（Vol. 19 No. 1）」の出版状況について報告

研究論文（1件）会議参加記（2件）、会告として平成23年度バックエンド部会表彰、バックエンド部会 関連行事予定

### ②部会誌の発行状況

- ・次号 Vol. 19 No. 2（2012年12月）の予定

巻頭言、研究論文1件（+2件を予定）、技術報告1件、会議参加記6件、会告、関連行事予定

- ・ CD-ROM の発行を年 1 回とした・・・6 月の発行なし まとめて 12 月に配布予定
- ・ 次号は最大 3 件予定
- ・ J-STAGE オンライン公開状況  
オンラインジャーナル用 ISSN 番号の新規取得 (ISSN:2186-7135)  
Vol. 18 No. 2、Vol. 19 No. 1 について、公開済み。アーカイブについても掲載を検討中。部  
会誌への積極的な投稿をお願いしたい。

## 2.4 庶務

### ①海外発表助成制度

- ・ 平成 22 年度、平成 23 年度は応募無し

### ② 研究会支援制度

- ・ 平成 22 年度、平成 23 年度は応募無し

上記 2 件とも、今年度ここまでのところ応募がない。希望者がいれば利用を検討頂きたい。

以上